

11. アスパラガスの灌水開始点（情報）			
[要約] アスパラガスは灌水開始点pF 1.8～2.0でチューブ灌水すると多収が得られ、商品性も高い。			
研究室名	中山間農業研究室	連絡先	0868-57-2758

[背景・ねらい]

アスパラガスの収量は灌水の影響が大きい。強い乾燥を受けると若茎の発生が止まり、その後に灌水してもすぐには収穫量は回復せず、減収することが多い。そこで、長期どり栽培において、生産の安定を図るための灌水法を検討する。

[成果の概要・特徴]

1. 1回の株当たり灌水量3Lとし、灌水チューブから10cm離れた株間の地表下20cmの位置にpFメータを設置して、灌水開始点pF 1.8、2.0、2.2、2.6で収量を比較したところ、灌水開始点のpF値が低い1.8及び2.0で多く、pF値が高いほど収量は少なくなった（図1）。
2. 灌水開始点pF 1.8～2.2で商品性の高い穂先のよく締まったものが多かったが、pF 2.6では穂先の開きが大きいものが多かった（図2、3）。

[成果の活用面・留意点]

1. 高温乾燥期には株当たり1回3L（約5m³/10a）の灌水が適当である。

[具体的データ]

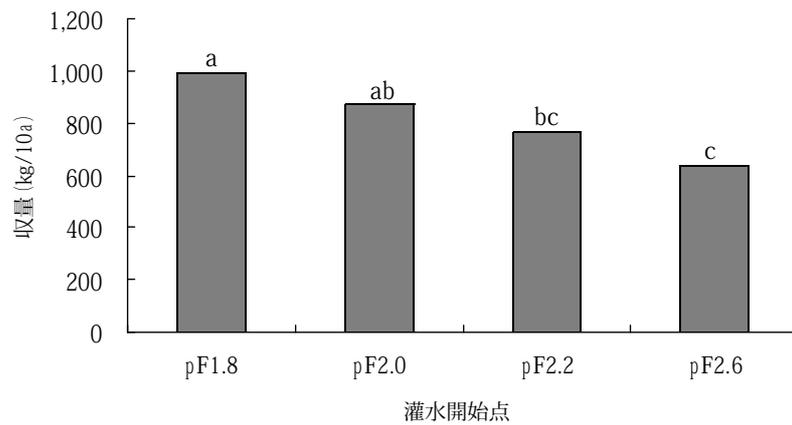


図1 灌漑開始点が7月下旬～10月中旬の総収量に及ぼす影響

注) 異なるアルファベット間には5%水準で有意差あり



図2 アスパラガスの穂先の開度

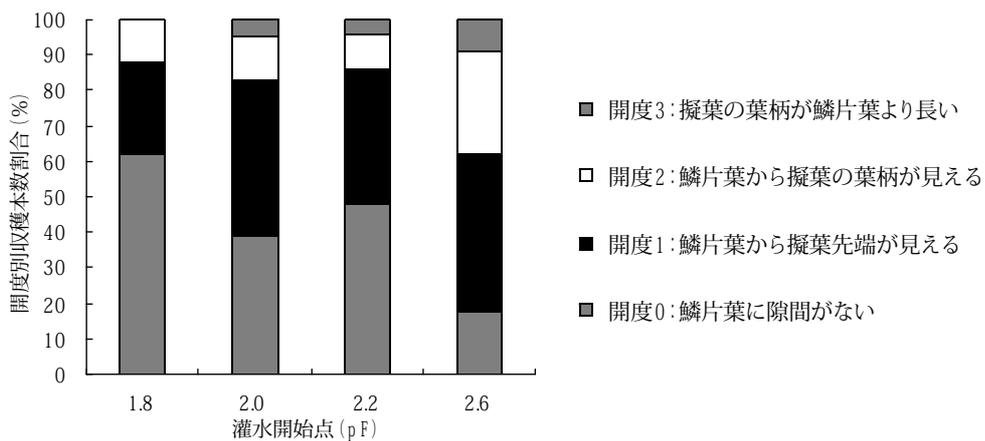


図3 灌漑開始点が穂先の開度に及ぼす影響

[その他]

試験研究課題・事業名：アスパラガスの省力安定生産技術の確立

予算区分：県単

研究期間：平成14～16年度